



ALL  
NEW

**Reactor**  
**Carbon**

**Reactor**  
**Wood  
Reflex**

## Description

飛躍的な進化を遂げたウェーブボード、**Reactor**。

短い全長、広いノーズ幅、比較的平坦なロッカーライン、クアッドフィンセットアップにより、驚くほどの反応の良さにより、独特の水の感触を感じることができる。したがってリアクターという名前になった。

リアクターはドライブするターンを生み出し、リップに当たった瞬間に素早く向きを変える。タイトな波のポケットに当て込む時や、エアリアルに行くときなど、ボードのコントロールが非常に簡単である。

クロスオンショアのコンディションからサイドショアのダウンザラインコンディションまで、理想的なウェーブライディングが可能。

## Design & Performance

リアクターのスペックは従来のものと、新しい独特なもの両方を兼ね備えている。

**ロッカーライン**：フラットなロッカーラインにより、ストレートや波の中で非常に速い艇速が実現。

**ボトムシェイプ**：テールに強く入った Vee はクイックなレイルトゥーレイルを可能にする。フットプレッシャーをダイレクトに伝え、反応が良い。フィンからノーズにかけて入った、シングルとダブルコンケーブの組み合わせにより、スピード性、コントロール性、反応が非常に良い。

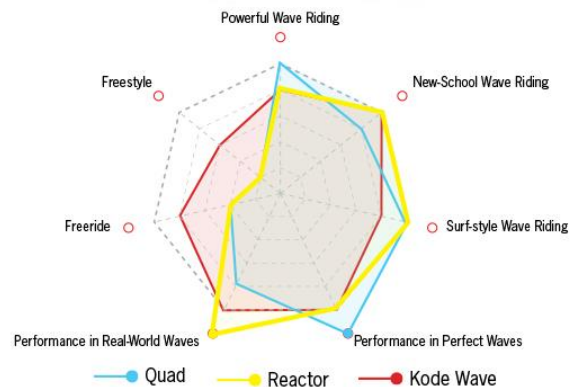
**フィン**：クアッドフィンセットアップによりグリップとドライブするターンを実現した。バックフィンのベースは幅が広くよりグリップし、フロントフィンにはターン時の安定感とコントロール性を高めている。

**アウトライン**：短くてコンパクトで、ノーズ幅を持たせている。タイトな波のポケットに短いアウトラインがフィットして、より激しいサーフライディングが可能。幅の広さにより簡単にリップに当てることができ、また安定感をもたらすライダーの信頼を得ることができる。

**レイル**：比較的薄いレイルで、ノーズにかけてはエッジが丸みを帯びていることによりグリップを生み、テールにかけてはエッジが立ったレイルで、水切れが良くプレーニングが速く、レイルも入れやすい。

**結果**：様々なコンディションで独特で反応の良い性能を発揮する。

## Spider Chart



QUAD、KODE、REACTOR のウェーブレンジのスパイダーチャート。QUAD はスコットが開発したダウンザラインコンディションでパワフルなカービングが可能なボード。KODE はオンショアコンディション向きのスピードとエアリアルが得意なフィリップスタイルのボード。REACTOR はそれぞれのボードの中間にあり、幅広いコンディションで独自の反応の良さを発揮するジェイガー・ストーンスタイルのボード。

INNOVATION QUALITY  
**STARBOARD**



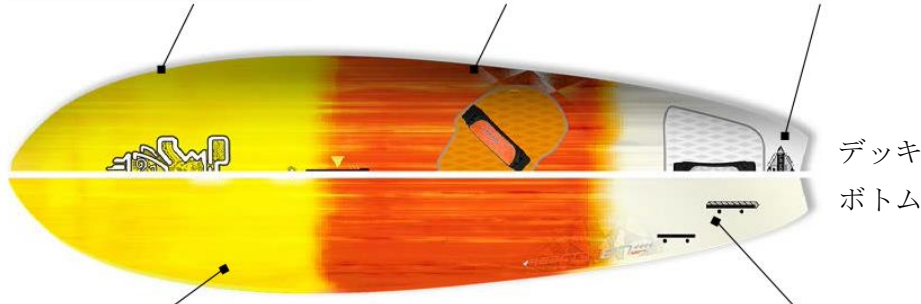
## Key Features

コンパクトで短く幅広めのアウトラインは波のポケットにフィットし、動かしやすく反応が良い

ノーズ幅は、安定性と加速を生み、簡単にリップに当てることができる

ノーズの薄くて丸いエッジのレイルは水になじみレイルが入りやすく、テールにかけてエッジが立ったレイルは水切れがよく速いブレイキング性能を発揮する

スワローテールは幅の広いテールでも簡単にレイルトゥーレイルの切り替えができる



フィンからノーズにかけてのシングルとダブルコンケーブボトムシェイプによりスピード性能とコントロール性を高めている。テールに強く入った Vee はターン時に今までにないほどの反応の良さを実現

クアッドフィンセットアップは全てのコンディションでコントロール可能なグリップとドライブを生みだす。バックフィンにはベース幅の広いフィンをセットアップしているため、ドライブ性と加速性を高めている。フロントフィンはターン時に安定性とコントロール性をもたらせている

デッキ  
ボトム

## Additional Information

“ターンは本当に簡単に、よりタイトにでき、ドライブ性能は波に対してよりバーチカルにアプローチすることを可能にしてくれる。ステアリングは完璧で、あなたが行きたいところに必ず行くことができる。それは簡単なことだ。簡単にボードを動かすことができるため、リップに当てることも、エアリアルをすることもできる。”

- Thewes de Boer

“最初のボードテストはオンショアコンディションのタイとテネリフェで行い、その後ウェスタンオーストラリアの *Gnaraloo* で最高のクオリティーの波でテストを行った。ダウンザラインコンディションで、フルスピードでのハンドリングの違いをしっかりと示してくれた。そしてあなたはクアッドによる反応性の良さに適応する必要がある。今までのようにボードにプレッシャーをかけると早すぎるレスポンスを感じるだろう。でもこの反応の良さに慣れた時、新たなラインを描くことができるであろう。今までは、とても遅れてからリップに行くことができなかったが、このボードは反応の良さでスピードからいくことができる。そして幅が信頼と攻めるときのポジティブなメンタル乗り手に与えてくれる”

- Scott McKercher, chief wave designer

## Technical Specifications\*

Name	Volume (litres)	Length (cm)	Width (cm)	Tail Width (cm)	Weight* Carbon (kg)	Weight* Wood Reflex (kg)	Sail Range (m <sup>2</sup> )	Fin	Fin box
Reactor 79 Carbon Reactor 79 Wood Reflex	79	211	58.5	38	TBC	TBC	4.0-5.3	2 x Twin Surf 145 + 2 x Natural Wave 110	2 x Slot Box 13 + 2 x Slot Box 10
Reactor 82 Carbon Reactor 82 Wood Reflex	82	212	59.5	38.8	TBC	TBC	4.2-5.3	2 x Twin Surf 145 + 2 x Natural Wave 110	2 x Slot Box 13 + 2 x Slot Box 10
Reactor 87 Carbon Reactor 87 Wood Reflex	87	214	61.5	39.7	TBC	TBC	4.5-5.7	2 x Twin Surf 150 + 2 x Natural Wave 110	2 x Slot Box 13 + 2 x Slot Box 10
Reactor 92 Carbon Reactor 92 Wood Reflex	92	219	63.5	40.6	TBC	TBC	4.7-6.2	2 x Twin Surf 155 + 2 x Natural Wave 110	2 x Slot Box 13 + 2 x Slot Box 10
Reactor 99 Carbon Reactor 99 Wood Reflex	99	220	65.5	41.7	TBC	TBC	4.7-6.2	2 x Twin Surf 165 + 2 x Natural Wave 110	2 x Slot Box 13 + 2 x Slot Box 10